

ミズベリング勉強会(2)

～多様な水辺の価値を知って、観て、活かす～

日時・場所:平成30年8月28日(火)13:30~17:00

場所:川崎市第4庁舎会議室 参加:28団体80人(自治体9、企業16、国3)

プログラム

勉強会主旨説明 関東地方整備局河川環境課

1. ミツカン水の文化センター

松本 裕佳

2. 日頃使わない神経を「水辺」が刺激する

日本ブレインヘルス協会理事長、杏林大学名誉教授 古賀 良彦

3. ～本物の地域活性化を考えよう～

一般社団法人 まちの魅力づくり研究室 理事、東京大学名誉教授 堀 繁

4. 水辺から始まる市民主導の公民連携

三井不動産株式会社企画調査部上席主幹 辻田 昌弘

5. 座談会・意見交換

comaecolor代表 篠塚 雄一郎

株式会社リビタホテル事業部 西山 尚子

6. ミズベリング的視点でもの申す～ミズベは川だけのものなのか～

ミズベリングアドバイザー 藤井 政人



ミツカン水の文化センター
松本 裕佳



日本ブレインヘルス協会理事長、
杏林大学名誉教授
古賀 良彦



一般社団法人まちの魅力づくり研究室理事、
東京大学名誉教授
堀 繁



三井不動産株式会社
企画調査部上席主幹
辻田 昌弘



株式会社リビタホテル事業部
ディレクター 西山 尚子



comaecolor
代表 篠塚 雄一郎



ミズベリングアドバイザー
藤井 政人



- ・世界遺産級の観光資源よりも、人はホスピタリティー表現を評価する。
- ・「私のことをとても大事にもてなしてくれるという雰囲気」それがホスピタリティー表現
- ・水辺でストレスコーピング 交感神経系と副交感神経系の絶妙なバランス
- ・公共空間である水辺を“自分事”としてまちづくりに取り込むことが重要
- ・小さく始めて、素早い成果、そして拡げる、それがミズベリング!